

第3章

健康づくり目標における 中間評価と今後の推進方策

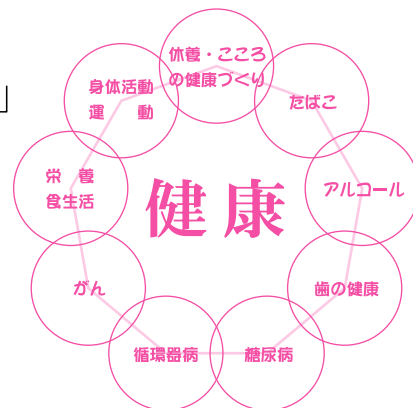
1. 目標の設定

(1) いきいき瀬戸市民の実現に向けた「9つの分野」

瀬戸市計画では、全国と同様に9つの分野を設定して10年後の目標値を定め、健康づくり等を推進してまいりました。

しかし、策定後に健康増進法が施行されるなど、健康づくりを取り巻く環境が変化しており、残された5年間の計画期間において、市民一人ひとりの健康づくりが円滑に推進できるように、策定時と同様の9つの分野を設定し、中間評価を行いました。

この中間評価の結果をもとに今後の推進方策を考えていきます。



(2) 分野の3つの指標

9つの分野において、それぞれの目標を示し（後述）、それぞれの目標達成のために、取り組み主体別の3つの指標を次のように表現しました。

健康指標

- ・めざすべき健康・保健水準の指標

行動指標

市民自らが主体的に取り組むこと

- ・健康指標を達成するために、市民自らとるべき行動に関する指標

環境指標

行政、専門機関や健康関連団体等が主体的に取り組むこと

- ・市民の行動を支援するために、行政、諸団体がとるべき環境整備の指標

(3) 健康づくりの5つの柱

生活習慣病、要介護状態の予防を図るために、目標達成のために5つの柱を立てて、健康づくりを推進してきました。今後もこの5つの柱を中心に健康づくりを推進していきます。

ア 生涯を通じた健康づくりの推進 ・身体的・精神的・社会的に健康な状態をめざします。

- ① 身体の健康づくり
- ② こころの健康づくり
- ③ 社会的存在としての健康

イ 生活習慣の改善による生活習慣病発症予防の推進

- ① メタボリックシンドローム、喫煙、アルコール、ストレスの改善
- ② 高血圧、高脂血症、高血糖等の改善、小児肥満の改善

ウ 健康診査等の充実

- ① 乳幼児健康診査
- ② 女性の健康診査
- ③ 歯科健康診査
- ④ 健康診査
- ⑤ がん検診
- ⑥ 職場の健康診断等

エ 疾病の早期発見、早期からの適切な継続治療、リハビリテーションの推進

- ① 早期発見、早期受診
- ② 早期治療、継続治療
- ③ リハビリテーション

オ 個人の健康づくりのための環境整備の推進

- ① 知識の普及啓発活動
- ② 専門機関・関係機関等の支援の充実
- ③ 個人の健康づくりを支援する地域組織・自主グループづくり
- ④ 地域組織・自主グループの人材の育成
- ⑤ 市民の生活の場の整備・安全の確保

2. 目標設定分野別の中間評価

前期5年間（平成15～19年度）のまとめ

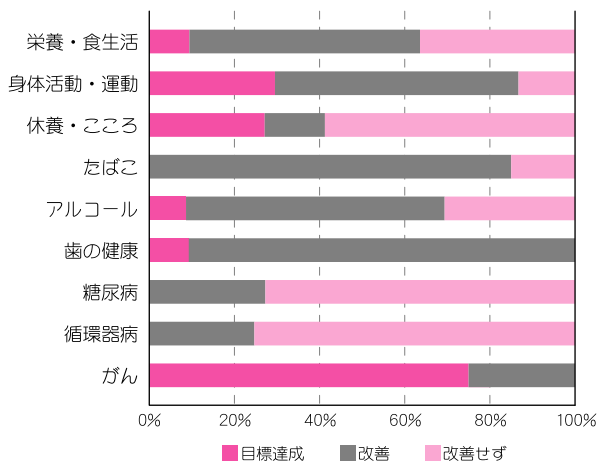
重点課題

	分野名	目標	前期5年間のまとめ
1	ウォーキング (身体活動・運動)	みんなで楽しくウォーキングをはじめよう ～いつでもどこでもだれでも～	ウォーキングの知識普及・機会の提供を中心に取り組んだ。その結果、ウォーキングにかかわらず、意識的に体を動かす市民が有意に増加した。重点課題の目標は達成したと考える。今後は、市民が生活の中で運動を気軽に取り入れることができるような支援を継続する。
2	分煙（たばこ）	分煙の徹底、受動喫煙をなくそう	行政関係機関の分煙実施率を100%にすることができた。他機関に対しては、分煙実態調査を行い知識普及ができた。重点課題の目標は達成したと考える。今後はたばこ分野の取り組みの一つとして継続していく。

9分野

	分野名	前期5年間のまとめ	後期5年間の課題
1	栄養・食生活	・児童・生徒（特に女子）の食習慣が改善 ・朝食を毎日摂取する市民が増加	・朝食を毎日摂取する男子・男性を増やす ・自分にとって適切な食事量を知っている市民を増やす
2	身体活動・運動	・健康のために意識的に体を動かす市民が増加 ・週2回の運動を1年以上継続している市民が増加	・ウォーキングを含め、日常的に体を動かす市民を増やす
3	休養・こころ	・学校が楽しい、勉強に集中できる高校生が増加 ・悩みのない中学生が増加	・ストレスをおおいに感じる市民を減らす
4	たばこ	・すべての年代でたばこが影響する病気の知識が増加 ・行政機関の分煙100%達成	・たばこが影響する病気を知っている児童・生徒・市民を増やす ・分煙の知識啓発の継続
5	アルコール	・毎日酒を飲む市民、過度な飲酒をしている市民が減少 ・すべての年代で酒の飲みすぎが影響する病気の知識が増加	・節度のある飲酒量を知っている市民を増やす ・酒の飲みすぎが影響する病気を知っている市民を増やす
6	歯の健康	・すべての評価指標が改善 ・8020運動を認識している市民が増加	・う蝕のない3歳児を増やす ・8020運動を知っている市民を増やす
7	糖尿病	・年1回の定期健診を受ける市民が増加 ・基本健康診査にて異常所見者が増加（高血圧・高脂血症・糖代謝異常）	BMI 25以上の肥満の市民を減らす
8	循環器病		
9	がん	・年1回のがん検診を受ける市民が増加	・がん予防の知識の普及とがん検診の受診率向上を目指す ・愛知県がん対策推進計画との整合性を図りながら推進

分野別指標達成度



左の表は、分野別の指標達成度です。計画策定時に定めた目標値を達成したものを「目標達成」、数値が少しでも目標値に近づいたものを「改善」、策定時より改善されなかったものを「改善せず」としました。「目標達成」が多かったのは「がん」でした。「改善」が多かったのは「歯の健康」「たばこ」「身体活動・運動」でした。前期5年間は、「たばこ」と「身体活動・運動」から、分煙、ウォーキングを重点課題と位置づけ取り組んできました。その結果、改善につながってきたと考えられます。一方、「循環器病」「糖尿病」は改善していない割合が多かったです。今後はこの分野に焦点を当て、重点的に対策を講じる必要があると思われます。

11ページから、9分野ごとの中間評価を掲載しています。

※計画策定時と中間評価時の値は、実施した生活習慣実態調査結果【小・中・高校生，成人（一般市民18～79歳）】をもとに掲載
※結果（ポイント）は、最終目標に近づいたものはプラス表示，離れたものはマイナス表示で掲載
※検定ソフトRSTATを用い、率の差の検定を実施。有意差のあったものは達成度欄に*、**で記載